

代表者名	佐藤 孫一	所管部課名	農林水産部水産漁港課
所在地	秋田市山王3-8-15	設立年月日	昭和28年6月16日

【沿革及び県の出捐理由】

中小漁業融資保証法に基づき、中小漁業者等の漁業経営に必要な資金の融資を円滑にするため、系統金融機関が行う中小漁業者への貸付に対して債務保証を行うことを目的に昭和28年設立され、目的達成支援のため出資。

【出捐者】(17年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	153,150	43.7
市町村	9	42,450	12.1
その他	65	154,600	44.1
計	75	350,200	100.0

【事業】

主たる業務

信用補充業務  
中小漁業者が系統金融機関から資金を借入する際の債務保証をすることを通じて中小漁業者の発展に寄与する。

事業実績

(百万円、件)

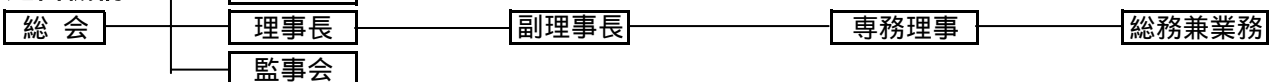
事業名等	14年度	15年度	16年度
保証残高	846	900	936
保証件数	122	130	165

16年度事業概要及び17年度事業計画・目標

16年度	保証業務	新規	83件	345百万円、	求償権回収	1百万円
17年度	保証業務	新規	100件	480百万円、	求償権回収	1百万円

【組織】

運営機構



役員数

(人)

	理	事	監	事
常勤		1		
内、県OB				
非常勤		7		3
内、県OB				
内、県職員		1		
計		8		3
内、県関係者		1		0

職員数

(人)

	人数	備考
正職員	1	平均年齢
内、県OB		47歳
出向職員		
内、県職員		
臨時・嘱託	1	正職員
内、県OB		平均勤続年数
計	2	29年
内、県関係者	0	

【財務】

損益状況(16年度)

(百万円)

	金額
経常収入 A	16
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	6
運用益収入	9
その他	1
経常支出 B	28
人件費	21
その他	7
経常損益 C = A - B	-12
経常外収入	13
経常外支出	14
当期損益	-13

(百万円)

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

財務状況(16年度末)

(百万円、%)

	金額	構成比
流動資産	2,659	99.3
固定資産	20	0.7
資産計	2,679	100.0
流動負債	2,115	78.9
短期借入金	251	9.4
固定負債	0	0.0
長期借入金	0	0.0
引当金等	32	1.2
負債計	2,147	80.1
基本金	350	13.1
剰余金	182	6.8
資本計	532	19.9
負債・資本計	2,679	100.0

(千円%)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	18,646	18,646	100.0%

【県の財政支出】

(千円)

	14年度	15年度	16年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高				

## 1 主な経営指標

項目		単位	14年度	15年度	16年度	14-15増減	15-16増減
健全性	自己資本比率	%	21.14	20.50	19.87	0.64	0.63
	借入金依存率	%	10.96	9.60	9.37	1.36	0.23
	流動比率	%	129.71	128.69	125.72	1.02	2.97
収益性	剰余金（欠損金）	千円	193,597	195,284	181,979	1,687	13,305
	経常利益率	%	5.61	6.57	80.46	12.18	87.03
	総資本利益率	%	0.05	0.07	0.47	0.13	0.55
発展性	経常収入額	千円	25,133	30,220	15,707	5,087	14,513
効率性	総資本回転率		0.01	0.01	0.01	0.00	0.01
	職員1人当たり経常収入	千円	8,378	10,073	5,236	1,696	4,838
	人件費比率	%	76.30	66.60	130.95	9.70	64.35

## 2 経営目標の達成状況

経営目標			14年度	15年度	16年度	17年度
経営改善指標	自己資本比率（%）	目標		21.25	21.50	21.75
		実績	21.14	20.50	19.87	
事業管理費	事業管理費（千円）	目標	25,700	26,696	26,700	27,000
		実績	23,951	25,091	25,037	
事業成果指標	債務保証額（千円）	目標	910,857	908,978	900,000	900,000
		実績	846,154	900,096	936,153	
求償権回収	求償権回収額（千円）	目標	8,997	1,030	1,050	1,100
		実績	10,562	2,000	1,003	

## 3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

平成12年度以降経営改善に取り組み、14、15年度は僅かながら黒字計上できたが、業界及び県等からの支援計画の実現に至らず、超低金利政策の中16年度は赤字計上となった。

保証業務については、引き続き漁業者等の設備投資資金の需要が伸び悩んでいるが、運転資金等の需要は比較的旺盛で、一定の債務保証額が確保されている。

求償権の回収については、概ね目標額に近い回収ができた。

今後も零細な漁業者を支援するため、適正な基金運用や債務保証の実行に努め、また、可能な限りの経営改善を図り事業の推進に努めたい。

## 4 総合評価

概ね安定した経営内容	≪層の努力を要する経営内容≫
設備投資が伸び悩む中、運転資金等の需要に対する実行件数及び保証残高の増加は評価できる。今後も、厳しい経営環境の中、引き続き債務保証の管理及び求償権の回収について最大限の留意が必要である。	
現在の低金利環境では事業の継続は厳しい状況にあるため、運営体制について検討する必要がある。	